

1 協定の背景

プロ野球選手が直面する セカンドキャリア問題

プロ野球界では毎年100人を超える選手が生まれる一方で、100人を超える選手が引退しています。

そうした引退選手を待ち構えているのはセカンドキャリア問題です。

これまで企業や大学との連携や支援により、セカンドキャリアへの取り組みを進めています。

永島敏行氏との関わり

俳優の傍ら、農産物に関するプロデュースやコンサルティング等を行っており、食や農業に関わる国の委員等を歴任するとともに、プロ野球選手会とのパイプもある永島氏が、今回の協定の橋渡し役となっていました。

高知県における 「地域おこし人材」確保の課題

高知県では人口減少や少子高齢化により、特に中山間地域で地域や産業の担い手不足が課題となっています。

その対策の一つとして、都市地域からの移住促進を図り、地域の担い手となる「地域おこし人材」の確保に努めています。



2 地域おこし人材について

高知県では、「地域おこし人材」の確保策として、地域おこし協力隊制度や特定地域づくり事業組合制度の活用を推進しています。

(詳細は別紙)

地域おこし協力隊

都市部から過疎地域等に移住し、最長3年間自治体から委嘱を受けて地域おこし支援等のミッションに携わり、任期終了後の定住を図る制度で、地域での生活に慣れていくながら、就業・起業につなげることができる仕組みです。

特定地域づくり事業組合制度

複数の仕事を組み合わせて年間を通した雇用を創出し、正規職員として雇用する制度で、マルチワークをしながら、自分に合った仕事を探ることができる仕組みです。

3 協定の内容

<連携及び協力事項>

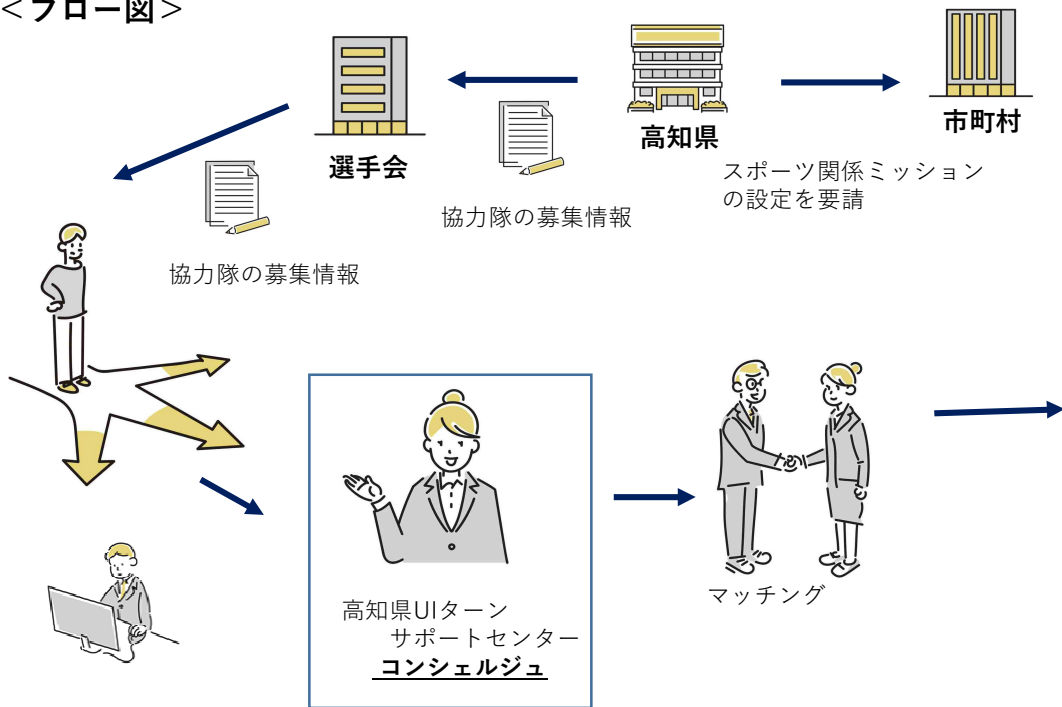
- (1) 高知県の地域おこし人材確保に関すること
- (2) 高知県のスポーツ振興に関すること
- (3) その他高知県の地方創生の推進に向けた取り組みに関すること

引退予定のプロ野球選手に、高知県の地域おこし人材（地域おこし協力隊や特定地域づくり事業協同組合）の情報をまとめて提供することで、**選手のセカンドキャリアの選択肢を広げる**とともに、高知県における**地域おこし人材の確保に繋げていく**ことを目的に協定を締結します。

一般社団法人日本プロ野球選手会と自治体が**人材確保について連携協定を締結するのは全国初の取り組み**になります。

4 具体的な流れ

<フロー図>



【問合せ先】高知県中山間振興・交通部 中山間地域対策課
【担当】柳、岡野
TEL:088-823-9602 MAIL:070101@ken.pref.kochi.lg.jp